

国内で豚熱の発生が続いています

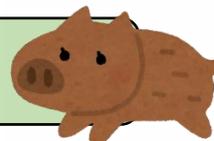
5月26日に栃木県の養豚場、5月28日に岩手県の養豚場で相次いで豚熱の発生が確認されています。

飼養者のみなさまに置かれましては、特に以下の点にご留意ください。

- ① 農場への出入り時の消毒、野生動物の侵入防止対策など、農場におけるウイルス侵入防止対策について再点検するとともに、その強化を徹底する。
- ② ワクチンのみで豚熱の感染を防ぐことはできないことを十分に認識し、適切な飼養管理を徹底した上で、適時・適切な接種を行うこと。
- ③ 一般的な慢性疾病を疑う場合であっても、まずは豚熱の可能性を疑い、家畜保健衛生所に速やかに相談すること。



今年の野生いのしし豚熱陽性事例



今年の1月から松田町（3件）、秦野市（1件）、相模原市（1件）、大磯町（1件）で計6件の陽性事例が確認されています。

引き続き野生いのししの侵入防止対策をお願いいたします。

出荷時のVマークが不要になりました！



豚熱及びアフリカ豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の一部変更され、豚熱ワクチンを接種した豚をワクチン接種区域内のと畜場へ移動させる際のV字のマーキングが不要になりました。

※接種区域外のと畜場に出荷する場合のみVマークでの標識をお願いいたします。

神奈川県県央家畜保健衛生所

〒324-0417 海老名市本郷3658

電話：046-238-9111 ファクシミリ：046-238-9124

メールアドレス：ken-oukaho@pref.kanagawa.lg.jp



県央家保HP